

## 嗅覚測定法を併用した総合的「におい環境」調査について

竹の内地区産業廃棄物最終処分場周辺の、現在の「におい環境」について、以下の2つの調査を行い、その実態を把握しようとするものである。

### I 竹の内地区産業廃棄物最終処分場周辺環境臭気調査計画（案）

#### 1 目的

竹の内地区産業廃棄物最終処分場周辺の現在の環境臭気調査を実施し、処分場敷地境界等における臭気指数の算定による客観的な状況把握を行うとともに、周辺環境への影響について検討する。

#### 2 実施時期

平成16年9月（～10月上旬）とする。

#### 3 測定方法

悪臭防止法及び県公害防止条例で採用され、規制基準の定められている空気希釈法である三点比較式臭袋法を準用する。

#### 4 調査内容

##### 4.1 測定地点

(1)測定地点（水平方向）：処分場敷地境界3地点及び場外1地点とする。

- ① 処分場敷地境界A（第5～第6工区北側付近を予定）
- ② 処分場敷地境界B（第7工区北側角；硫化水素モニター No.1 付近を予定）
- ③ 処分場敷地境界C（第8工区と第9工区の東側；硫化水素モニター No.2 付近を予定）
- ④ 地域住民の方々から調査地点として申し出のあった地点

##### 【設定理由】

地点の設定に当たっては、風上側と風下側を含むものとした。

処分場内に設置している硫化水素モニターステーション No.1 での平成15年8月から10月までの風向・風速データによる風速条件 1m/sec 以上の風配図（別添）をもとに、特に夜間に留意し、風上側として①を、風下側として②③を設定した。

なお、日中では風配図上逆転が見られるため、風上側が②③、風下側が①となるものとする。

(2)測定ポイント（垂直方向）

①～③地点では地上高 1m 及び 2.5 m の2点とし、④地点については地上高 1m とする。

##### 【設定理由】

当該地域は盆地状（窪地状）の地形にあり、特に夜間は大気安定化（下層と上層とで明確な勾配が生じること）が起こりやすい。

敷地境界における測定ポイントの設定に当たっては、処分場外の道路等面と処分場上部面との高低差を概ね 1.5 m として考慮し、道路等面から 1m 及び 2.5 m とした。

##### 4.2 調査方法

(1)調査期間 平成16年9月～10月上旬 の計5回とする。

(2)調査時間 1回につき24時間で行うこととする。

(3)調査方法

##### ①試料の採取

測定地点毎に、臭気を感じた時点で臭袋に環境試料を導入する。

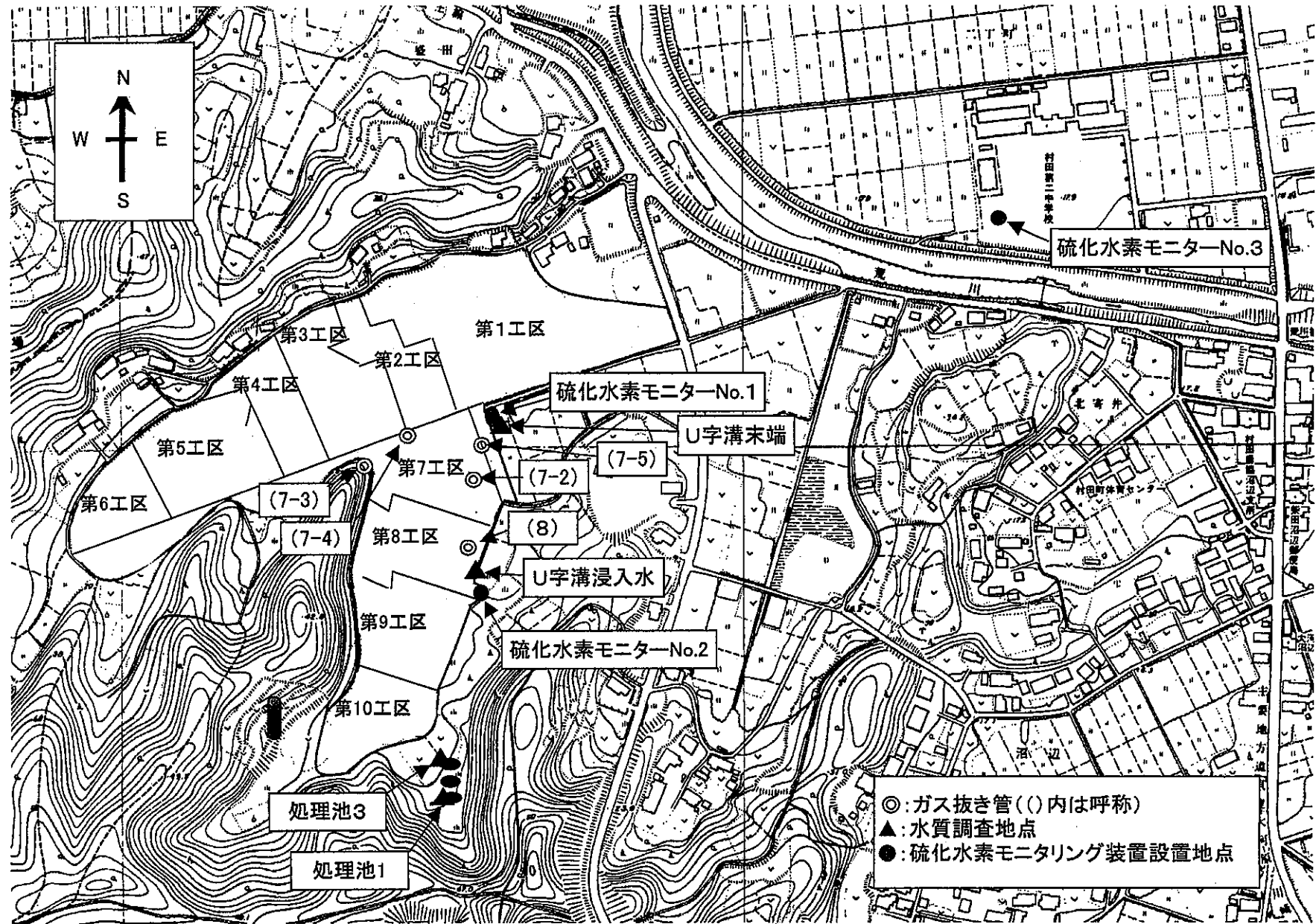
※採取した試料は、実験室に持ち帰り、各地点・ポイントで最もにおいが強かったものを嗅覚試験に供するものとする。

##### ②現場調査項目

試料採取時に、下記項目について記録するものとする。

- |        |            |        |     |
|--------|------------|--------|-----|
| ・採取日時  | ・天候        | ・気温、湿度 | ・気圧 |
| ・風向・風速 | ・臭気強度（6段階） | ・臭気の種類 |     |

村田町竹の内地区産業廃棄物最終処分場測定地点図



硫化水素モニター測定局における風向頻度 (風速条件 1m/秒)

—— 風向頻度 (単位: %)

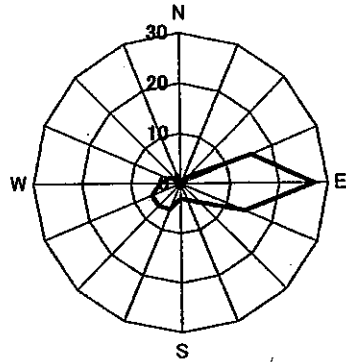
2003年8月

時間帯

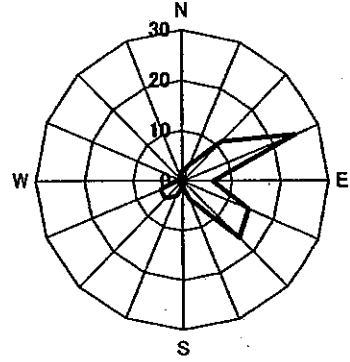
北側 (硫化水素モニターNo. 1)

村田第二中学校 (硫化水素モニターNo. 3)

全日  
(0~24時)

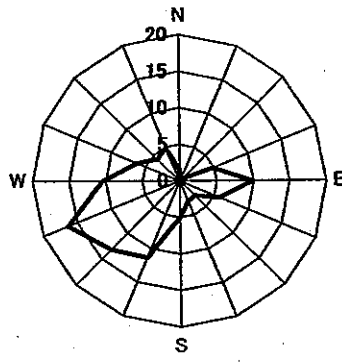


北側

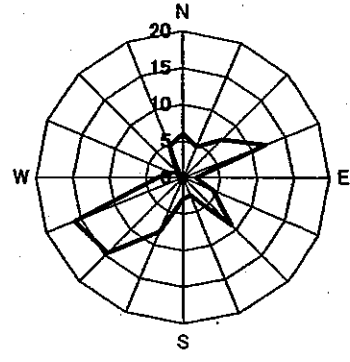


中学

0~7時

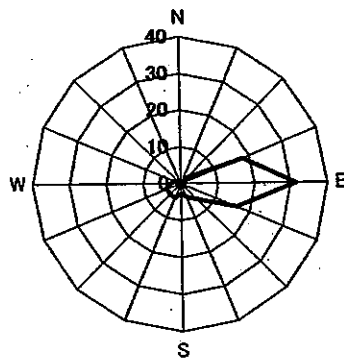


北側

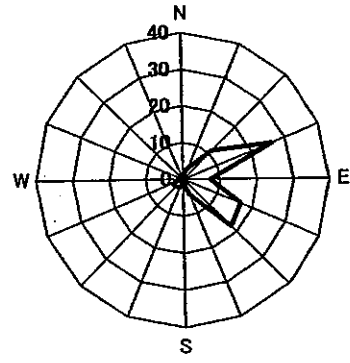


中学

7~18時

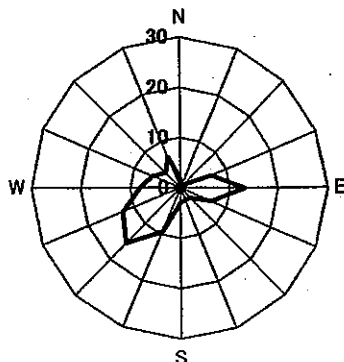


北側

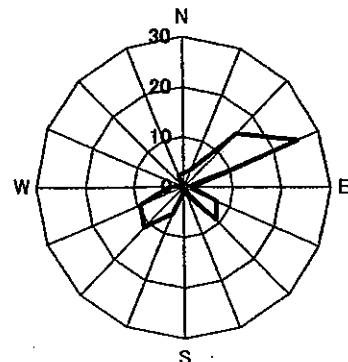


中学

18~24時



北側



中学

硫化水素モニター測定局における風向頻度 (風速条件 1m/秒)

—— 風向頻度 (単位: %)

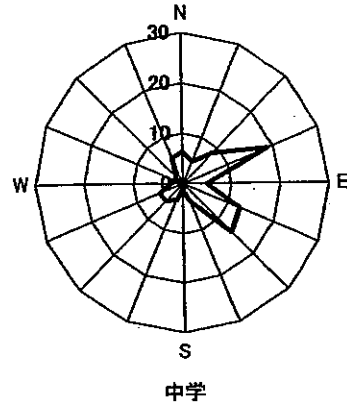
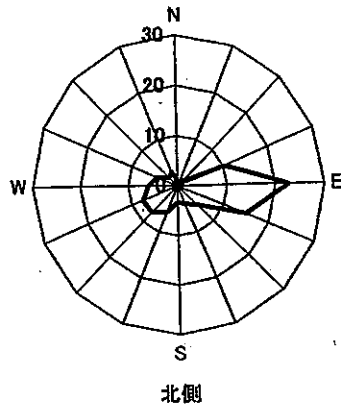
2003年9月

時間帯

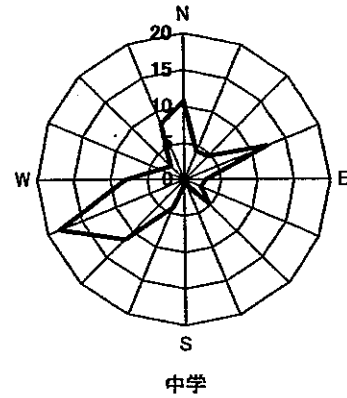
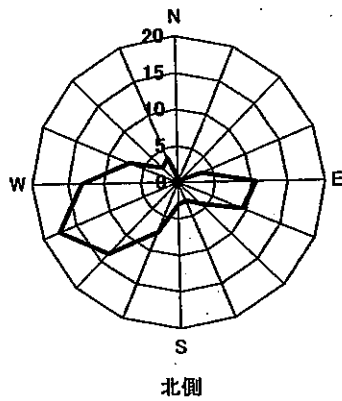
北側 (硫化水素モニターNo. 1)

村田第二中学校 (硫化水素モニターNo. 3)

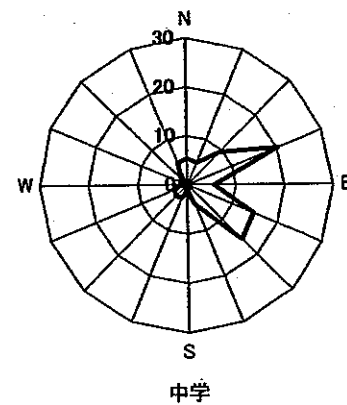
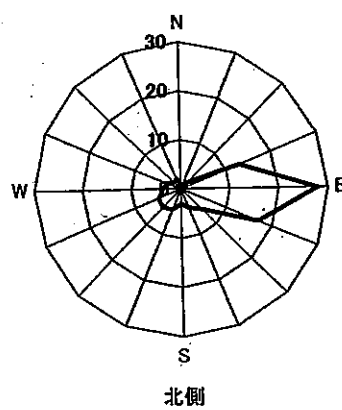
全日  
(0~24時)



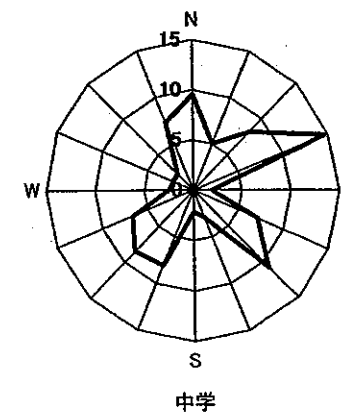
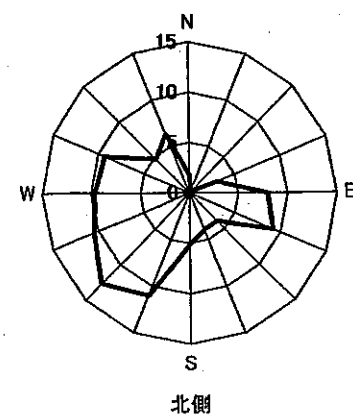
0~7時



7~18時



18~24時



硫化水素モニター測定局における風向頻度 (風速条件 1m/秒)

—— 風向頻度 (単位: %)

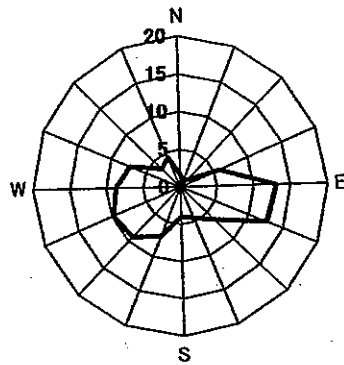
2003年10月

時間帯

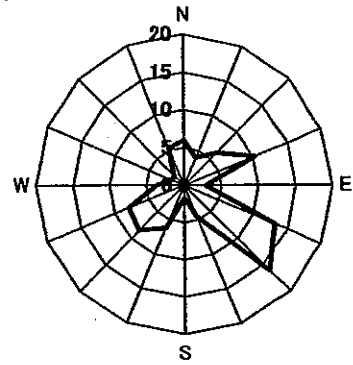
北側 (硫化水素モニターNo. 1)

村田第二中学校 (硫化水素モニターNo. 3)

全日  
(0~24時)

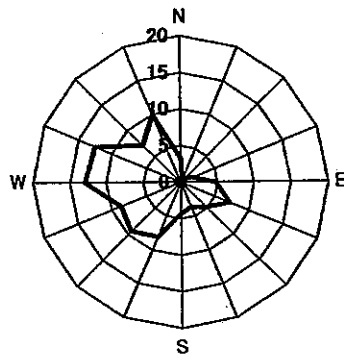


北側

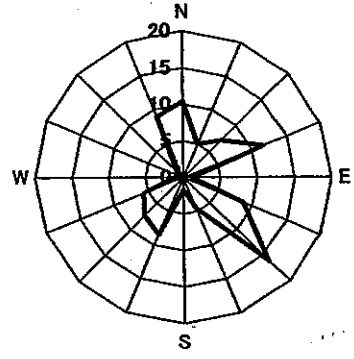


中学

0~7時

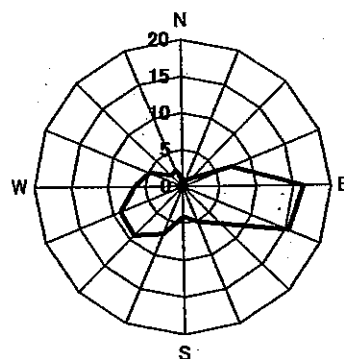


北側

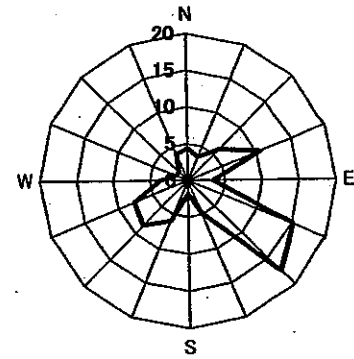


中学

7~18時

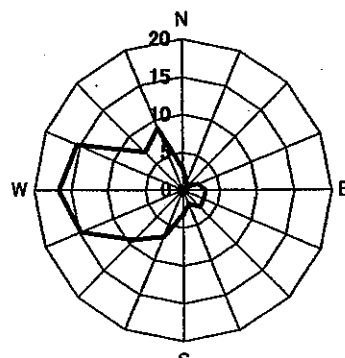


北側

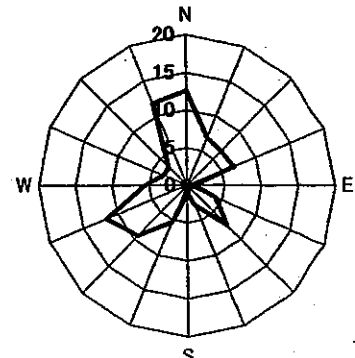


中学

18~24時



北側



中学

## II 産業廃棄物最終処分場周辺の臭気発生状況調査計画（案）

### 1 目的

竹の内地区産業廃棄物最終処分場周辺において、臭気の発生が想定される地点も含めた、総合的な地域のおいに関する実態を把握するための調査を行うものである。

### 2 実施時期

平成16年9月～10月とする。

### 3 調査内容

#### 3.1 対象地域

処分場を中心とする2km四方のエリアとする。

#### 3.2 調査方法

##### (1)臭気の発生が想定される施設等の立地状況調査

既存の各種資料に基づき、処分場のほか、以下のようなにおいがする施設等の立地状況を調査し、地図上にプロットし、「におい環境マップ」を作成する。

- ①畜舎（牛・豚・鶏）
- ②化学系工場・事務所
- ③堆肥置き場
- ④食品工場（加工場）
- ⑤下水管渠
- ⑥集合住宅浄化槽
- ⑦廃棄物関連処理施設（ごみの集積所を含む。）
- ⑧側溝・流れの悪い川（堀）・ため池
- ⑨花や草等植栽
- ⑩その他（住宅からのにおい、野焼き、小型焼却炉等）

##### (2)現地調査

(1)でマッピングした結果をもとに、付近の現地確認を行うとともに、付近の方からにおいに関する情報収集を行う。

##### (3)再調査

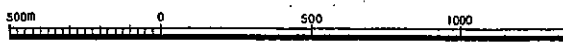
(2)の現地調査の結果で悪臭が感知された地点について、再度現地調査を行い、必要な場合は臭気測定等を行うものとする。



対象地域

昭和45年測量  
 平成6年修正測量  
 1. 使用した空中写真は平成4年10月撮影  
 2. 現地調査は平成6年5月実施  
 平成9年部分修正測量(高速道路)

1:25,000 村田



著作権所有兼発行者 国土地理院 許可なく複製を禁  
 平成10年8月1日発行(3色刷) 1刷

図 処分場周辺の臭気発生状況調査の対象地域